



テーマ説明

北海道立生涯学習推進センター
(生涯学習推進局社会教育課人材育成・開発G)
主査 森 健太郎



令和6年度(2か年目)

持続可能な社会の実現に向け、**地域の可能性を**
引き出す学びをつくる社会教育のあり方

(令和5～9年度)



「地域の可能性」とは

- (1) 物事が実現できる見込み
- (2) 事実がそうである見込み
- (3) 潜在的な発展性
- (4) 認識論で、ある命題が論理的に矛盾を含んでいないという側面を示す様態

「可能性」の意味

- 新たな視点や切り口で地域の**魅力を掘り起こす**(地域を知る取組)
- 事業の横展開を図る**仕組みづくり**(協働実践活動)
- 近隣市町村との連携・協働による**多様な人材の参画**
- 多様な学びの機会や個々の資質・能力を更新できる**学びの場の充実**



釧路町の教育課題

KUSHIRO TOWN

「**大人が釧路町のことを知らない、愛せていない**」

どこで学ぶことが効果的か、個の学習なのか、集団の学習なのか、愛するきっかけは何だろう

釧路管内サブテーマ

「**多種多様な人・団体との交流を生み出す仕掛け方の探究**」

いかに共通の学びの場に引き出すか、キーワードは「～～のため」?



「**子どものため**」をきっかけとした

釧路町大好き子を育成する大人のふるさと教育

釧路町大好き子を育成する大人のふるさと教育



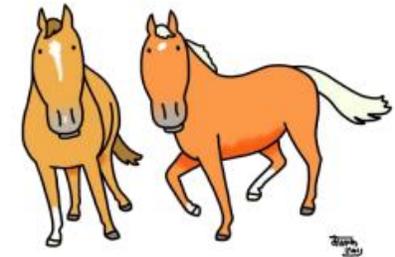
感想まとめ

今回の研修では、参加した中学生や高校生だけではなく大人も、実技や講演を通して、共生社会への理解を深め、その学んだことを学校や地域へどのように活かしていけるのかを真剣に考え交流を深める機会となりました。

この研修が、子どもたちの知識や経験として心に積もり、どこかで誰かと支え合う力になってほしいと願います。

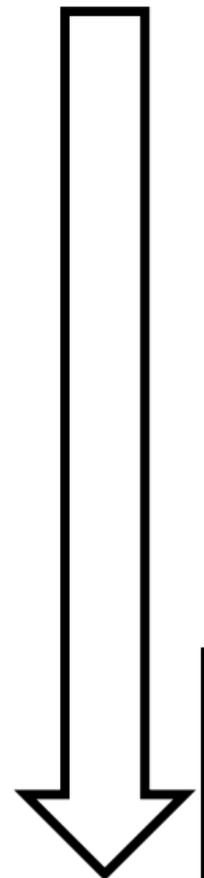


ジャックボール(目標球)と呼ばれる白いボールに、赤・青それぞれ6球ずつのボールを、投げたり転がしたり、他のボールに当てたりして、いかに近づけるかを競います。





まとめ



①教えて！あなたの「なんかいい感じ」(R5～6)

- ・人それぞれの「なんかいい感じ」がなんなのか、調査分析
- それぞれが「なんかいい感じ」になるには？社会を持続可能にするための方法を考える

②つくろう！みんなで「なんかいい感じ」(R7)

- ・持続可能な胆振のみんなの「なんかいい感じ」をつくる
- ・理想は、社会教育関係者だけでなく、“みんなが”それぞれの「なんかいい感じ」をつくること

③つなげ！胆振の「なんかいい感じ」(R8)

- ・胆振管内で(横)また世代間にも(縦)「なんかいい感じ」をつないでいくためには？

ゴール

みんなの「なんかいい感じ」を 尊重できる社会づくり

④まとめ



R5の整理

- 各管内において、サブテーマを設定し、5年間の研究の見通しを持つことができた
- 「地域の可能性を引き出す学び」について、考え方を整理することができた



持続可能な社会の実現に向け、
地域の可能性を
引き出す学びをつくる
社会教育のあり方

R9

R8

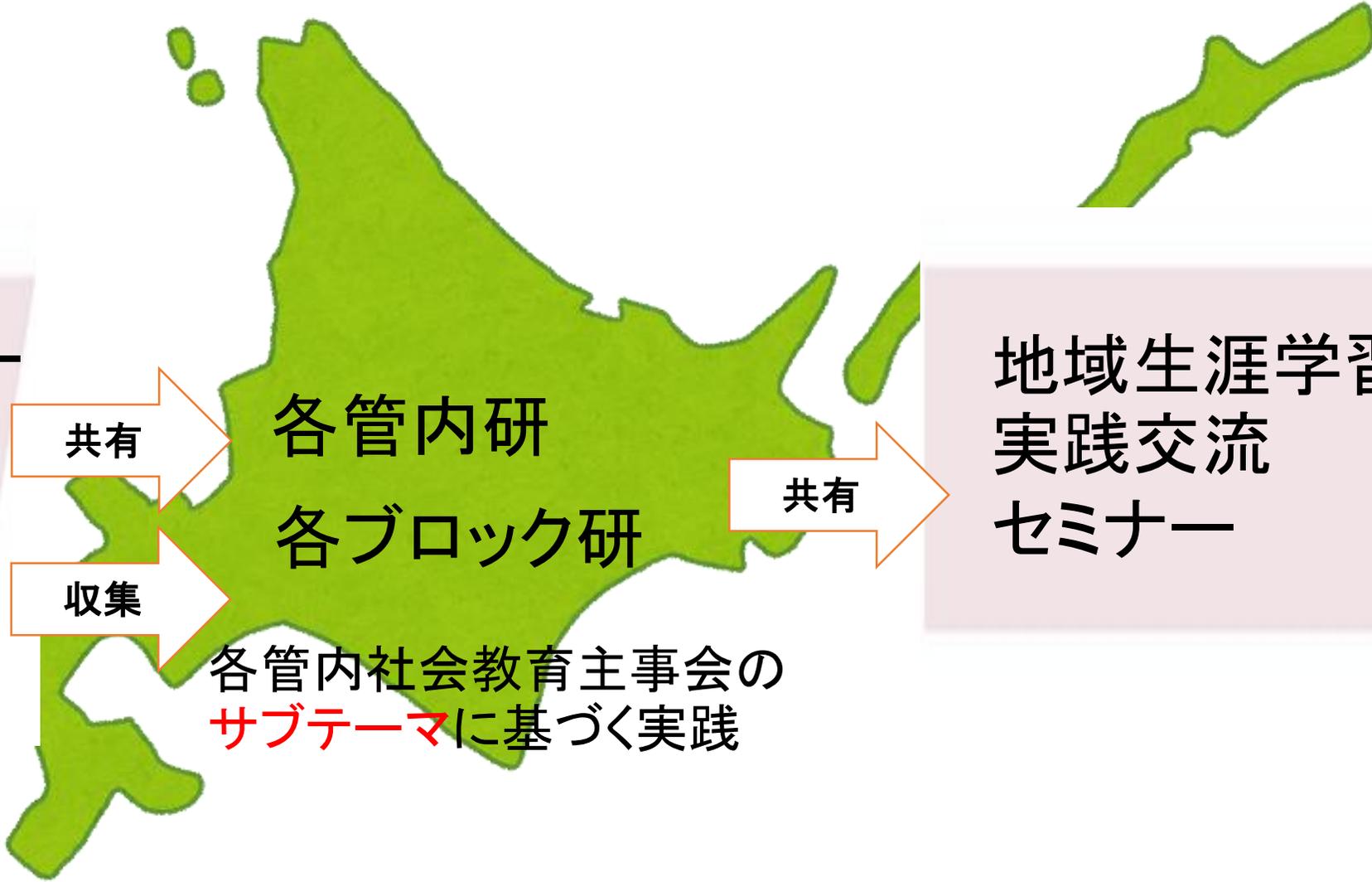
R7

R6

R5

- ☑ R5の取組の成果と課題を整理
- ☑ R6のアクションを考える

- ☑ 管内のサブテーマ決定
- ☑ 「地域の可能性を引き出す学び」について研究協議



社会教育セミナー

- ・研究テーマの確認
- ・取組イメージ

共有

各管内研
各ブロック研

収集

各管内社会教育主事会の
サブテーマに基づく実践

共有

地域生涯学習 実践交流 セミナー